

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	教員名
フォトフレームづくり	小	学級活動 4年 (図工・生活)	柳谷

<ねらい>

- ・自分の写真を入れるための自分だけのフォトフレームを作る活動に見通しをもって取り組む。
- ・身近な道具や素材を使い、楽しみながら作る活動に取り組む。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

全3回の授業①フォトフレームに貼る障子紙の色つけ

最初に、完成したフォトフレームを見せ、「つくりたい」という期待感を高める。好きな色水が入っている霧吹きを使い、障子紙に色を振りかける。障子紙が乾いたらフォトフレームの形に切った段ボールに貼り付けておく。

②フォトフレームの飾りづくり

紙粘土を型ぬきや粘土ナイフ等を使って好きな形にする。型ぬきした紙粘土に絵の具を使って自分の好きな色を塗る。

③フォトフレームに飾りつけ

フォトフレームに乾いた紙粘土をどこにつけるのかを決める。（フォトフレームに飾りの紙粘土を置く）
ボンドを飾りの紙粘土に付けて貼りつける。乾いたら背面に紐をつけて完成。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

良かった点は、卒業生へのプレゼントとして贈るフォトフレームを作ることにに対して気持ちを高めて作成することができたこと。霧吹きや粘土の飾りつけでは、個々の活動になってしまうが、大きな障子紙にみんなで霧吹きをしたり、紙粘土の飾りを卒業生用のものを一人一つずつ作ることで、友達と一緒に活動できたり友達を意識しながら活動できたりすることができた。また、①霧吹き、②型抜き、③飾りつけ、と3つの工程にすることで先を見通しながら取り組むことができた。改善点は、児童たちの実態に合わせて一時間という授業時間を児童達がどのように主体的に取り組み、集中させることができるのか課題である。また、最後の仕上げとして教師が手を加えていかなければ児童だけの力ですべてを作ることは難しいというところも課題である。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・段ボール、紐、霧吹き、絵の具、障子紙、セロハンテープ、紙粘土、ラミネート